

1. 中部地方整備局港湾空港関係組織の紹介
2. みなとの役割と中部地域の特徴
3. 中部地方整備局で担当している仕事
4. 仕事の流れ

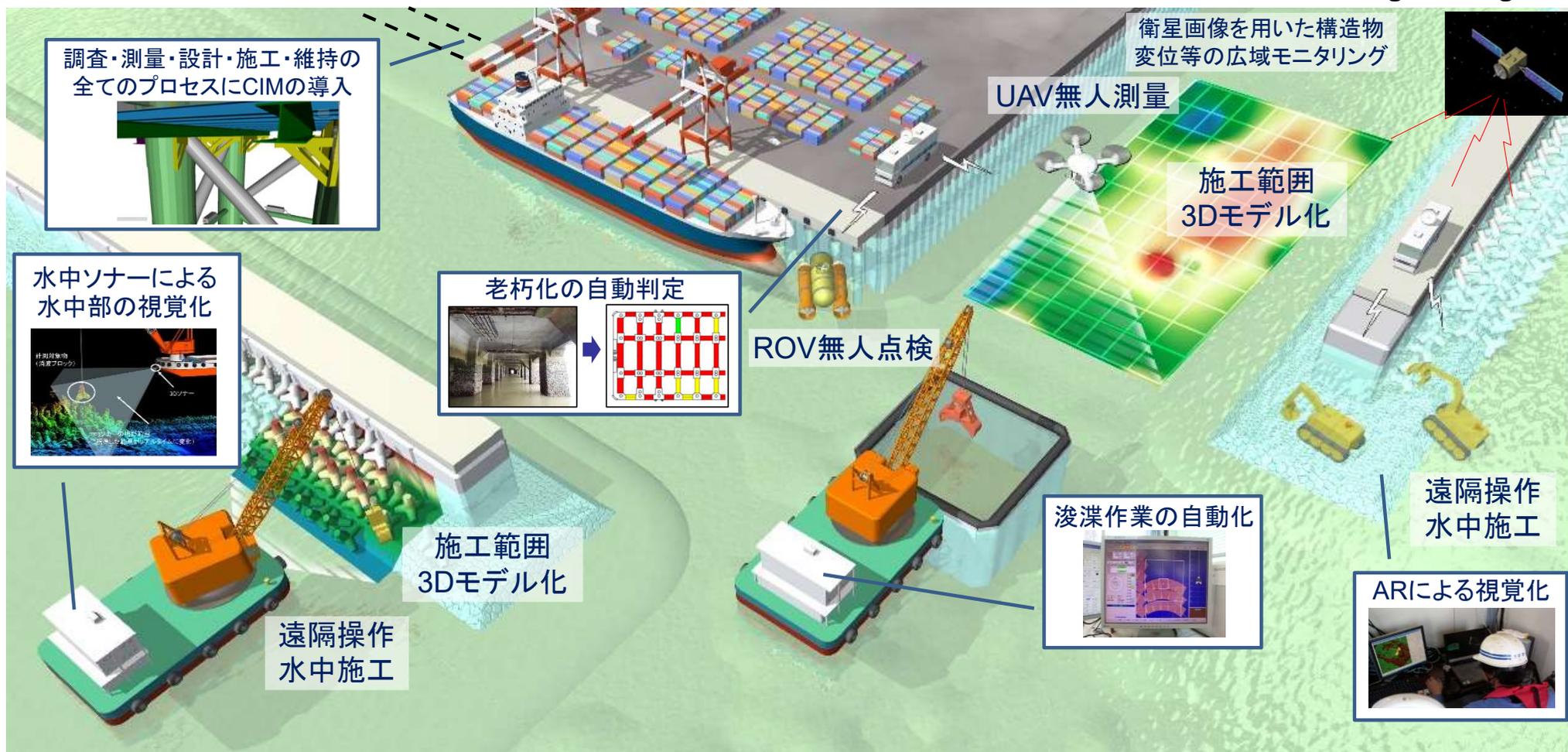
(参考) 最近の動き

(参考) 2025年度採用について

【新技術導入（i-Constructionの推進）による**メリット**】

- ① 生産性の向上（調査・測量、設計、施工、維持管理に至るまでの施設情報を3次元データで一貫管理）
- ② 安全性の向上（水中部の施工範囲の可視化）
- ③ 働きやすさの向上

※CIM: Construction Information Modeling / Managements



- 港湾の建設現場において、ICT施工や3次元データを導入し、各種作業の効率化、監督・検査の遠隔化等により、生産性向上や労働環境の改善を図る。
- 令和6年度は、ICT施工について引き続き試行工事を実施し、適用拡大を図る。また、3次元データの活用については、BIM/CIMプラットフォームの試験運用を開始し、機能拡張やそれに伴う改良を行う。

ICT施工

測量 3次元測深(マルチビームを用いた深淺測量)

従来測深
線で海底を計測

マルチビームによる3次元測深
面で海底を未測なく計測

施工 ICTを活用した施工

旗入れによる位置だし
水深確認

計測対象物(消波ブロック)
3Dソナー
3Dソナーの視野範囲
標準した範囲がリアルタイムに変化

グラブ操縦室
遠くマウスの移動で位置を指定

水中部の状況を確認しながら施工
リアルタイムで水中の施工位置や出来形を可視化

検査 検査日数・書類の削減

現地で測深、船上で計測データ読取確認

3次元測量データをパソコンで確認

BIM/CIM (3次元データ) の活用

BIM/CIMによる3次元設計

【事例①】

- ・複雑な施工手順の明確化
- ・説明資料作成の省力化(完成イメージ等)

マルチビーム等を活用した3次元測量

測量

設計

建設生産プロセス全体をBIM/CIM活用により3次元データで繋ぐ
〔前工程のデータを蓄積、後工程に生かす〕

BIM/CIMプラットフォーム

維持管理

施工

3次元データに基づく施工、品質管理

【事例②】プラットフォーム活用によるデータ管理の一元化

劣化診断(画像解析)

i-Boat (長さ1.2m)

ロボットやセンサーによる3次元点検データの取得

番号	A-1	A-2	A-3
設計値	+3.10	+3.10	+3.10
実測値	+3.12	+3.12	+3.13
差	+0.02	+0.02	+0.03
規格値	±5cm		

出来形の情報
施工状況写真
材料の情報

鋼管杭ミルシート

BIM/CIM: 建設事業で取扱う情報をデジタル化することにより、調査・測量・設計・施工・維持管理等の建設事業の各段階に携わる受発注者のデータ活用・共有を容易にし、建設事業全体における一連の建設生産・管理システムの効率化を図ること。

大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設。

大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。

熱海市土石流災害 【令和3年度派遣】

被災状況の映像撮影等調査支援や瓦礫や土砂の今後の検討を行うため、TEC-FORCE(ドローン調査班)を派遣しました。



濁りの状況



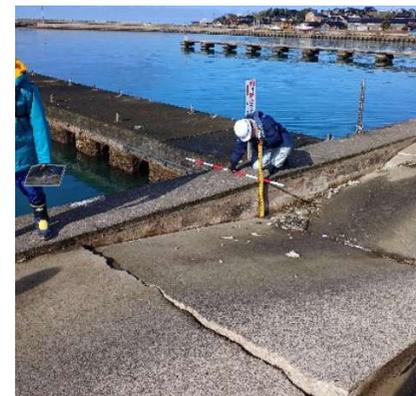
船揚場土砂堆積状況

能登半島地震 【令和6年1月派遣】

緊急物資の輸送、被災状況の調査支援を行うためTEC-FORCEを派遣しています。



金沢市の港湾施設の被災状況調査(R6.1.4 活動記録)



滝港(羽咋市)の港湾施設の被害状況調査
(R6.1.11 活動記録)



TEC-FORCE

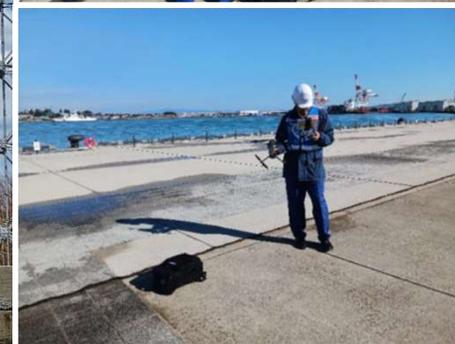
緊急災害対策派遣隊 Technical Emergency Control FORCE

港湾での災害発生時にUAV飛行を実施するため、
UAV飛行に必要な知識・能力および飛行経歴の取得研修を実施。

- ① 航空法関係法令に関する知識
- ② 安全飛行に関する知識
- ③ UAV飛行訓練（飛行許可申請に必要な飛行実績）



北陸地方整備局の
活動事例（能登半島地震）



働き方改革の目的(目標)

職員一人ひとりの「職場と個人の時間」の充実
～誇りとやりがいを感じられる職場づくりとともに～

実感できる・目に見える「働き方改革」の実行

働き方改革推進重点項目

テレワークの推進

・WEB会議の更なる活用

デジタル化の推進 (行政手続き、行政文書等)

・会議、レク等資料削減
(ペーパーレス化)

業務削減・効率化、 不要不急な業務の見直し

・各種会議・打合せ等の廃止・
縮小・効率化

マネジメント改革

テレワーク時も含め、管理職としてのマネジメント力向上を図る取組を実施

職員アンケート



コロナ禍をきっかけに、
働き方改革が大幅に進められています！

育児に関する両立支援制度等として、多様な働き方に対応した制度を利用できます。
また、男性職員の1ヶ月程度の休暇取得の促進を目指しています。

育児に関する両立支援制度等

- ・産前休暇 ☆
- ・産後休暇 ☆
- ・通勤緩和 ☆
- ・業務軽減等 ☆
- ・育児休業
- ・配偶者出産休暇 ★
- ・育児参加休暇 ★
- ・子の看護休暇
- ・育児短時間勤務
- ・育児時間
- ・フレックスタイム制の特例
- ・早出遅出勤務の特例 など

☆は女性職員のみ、★は男性職員のみ
その他は男女可能

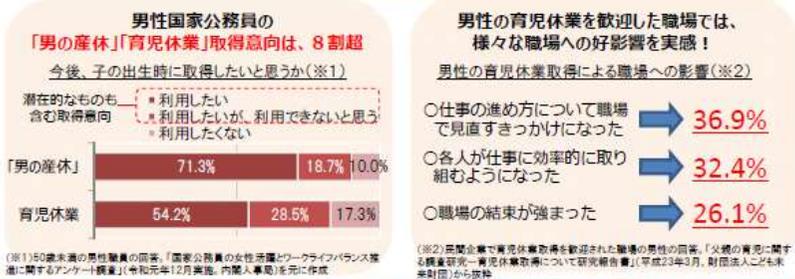
男性の家事・育児参画が、職場を日本を変える！
子供が生まれた全ての男性国家公務員が
育児に伴う休暇・休業を1か月以上
取得できることを目指しています！

男性の家庭生活への参画促進は、男性自身の仕事と家庭生活の両立のみならず、女性の活躍促進、ひいては、少子化対策の観点からも極めて重要なことから、政府では、男性職員の育児参画の促進について思い切った取組を進めることとし、令和元年12月、「国家公務員の男性職員による育児に伴う休暇・休業の取得促進に関する方針」を決定しました。
 この方針では、**令和2年度から子供が生まれた全ての男性職員が1か月を目途に育児に伴う休暇・休業を取得できることを目指すこと**とし、各府省等は、方針に掲げる標準的な取組に基づき、必要な工夫も加えつつ、取得を促進することとしています。

どうして今、男性職員の育児に伴う休暇・休業の取得促進なのか？

◇育児に伴う休暇・休業等の取得の促進は、男性職員本人や家族にとってもだけでなく、職場や社会にとっても意義のある、非常に重要な取組です。

- 男性職員にとって**
 - 子の成長と関わりに接し、親子の関わりが深まる。
 - 育児参画等による両立を経験することで、仕事の効率が向上
- 家族にとって**
 - 産後の女性には、ホルモンの急激な変化等による「産後うつ」発症のリスクがあり、配偶者(夫)の家事・育児のサポートが重要
 - 配偶者の復職・キャリア形成には夫婦による家事・育児の分担が必要
- 職場にとって**
 - 計画的な取得に向けた環境整備に取り組む中で、業務の見直しやチームマネジメントが浸透。介護や病気などの事案にも対処できる体制に
 - 多様な人がその能力を発揮して生き生きと働ける魅力ある職場になることが、優秀な人材の確保、公務の持続可能性の向上へ
- 社会にとって**
 - 社会全体での、女性の活躍促進、ひいては少子化対策の面での効果も
 - 「まず隼より始めよ」。国において率先して挑戦することで、民間も含め、我が国全体が変わっていくきっかけに！



具体的な取得の進め方に関するQ&A、各種ツールの案内は裏面へ

地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化の拠点として地域と連携し、みなと周辺の施設やスペースを活用して、みなとを核としたまちづくりを推進。

◆みなとオアシス津なぎさまち
(H20.8登録)

津なぎさまちフェスタ
高速船乗船会



◆みなとオアシスちた新舞子
(H22.5登録)

伊勢湾カップ



◆みなとオアシスがまごおり
(H19.4登録)

第9回Sea級グルメ全国大会



◆みなとオアシスマぐろの
まち清水(H30.6登録)

マグロまつり



◆みなとオアシス田子の浦
(R1.11登録)

田子の浦 みなとマルシェ



◆みなとオアシス沼津
(H19.11登録)

第14回Sea級グルメ全国大会
開催(R5.10.28~29)



◆みなとオアシス伊勢
(R5.10.11登録)

御幣鯛船歓迎式典



◆みなとオアシスとば
(H24.3登録)

第7回Sea級グルメ
全国大会inとば



◆みなとオアシス志摩
(H29.6登録)

伊勢えび祭



◆みなとオアシス浜名湖
(R3.7登録)

ウナギ掘み取り



◆みなとオアシス御前崎
(H27.8登録)

海王丸寄港



◆みなとオアシスおおいがわ
(H26.11登録)

踊夏祭(おどらっかさい)



◆みなとオアシス下田
(R4.1登録)

黒船祭



最近の動き 国際業務への参加

海外留学や大使館勤務（海外赴任）などを経験した中部地方整備局職員や国土交通省国際企画室 担当者から国際業務について説明や、国際業務の経験を講演してもらい、国際業務に関する啓蒙活動を実施しています。

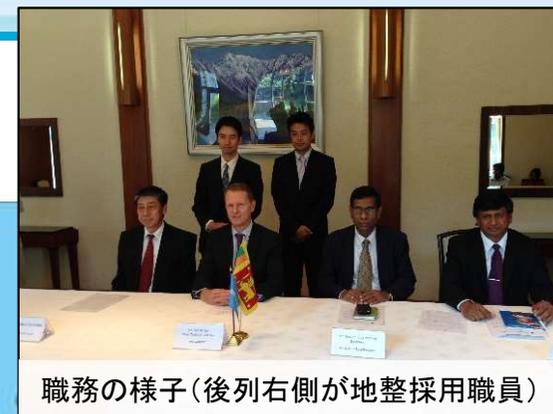


経験した職員によると、、、

国際業務では、異文化を経験できるほか、国土交通省の代表として働くため責任とやりがいを感じられたり日本ではできない経験ができたりして、俯瞰的、客観的にものごとや日本を捉えられるようになるそうです



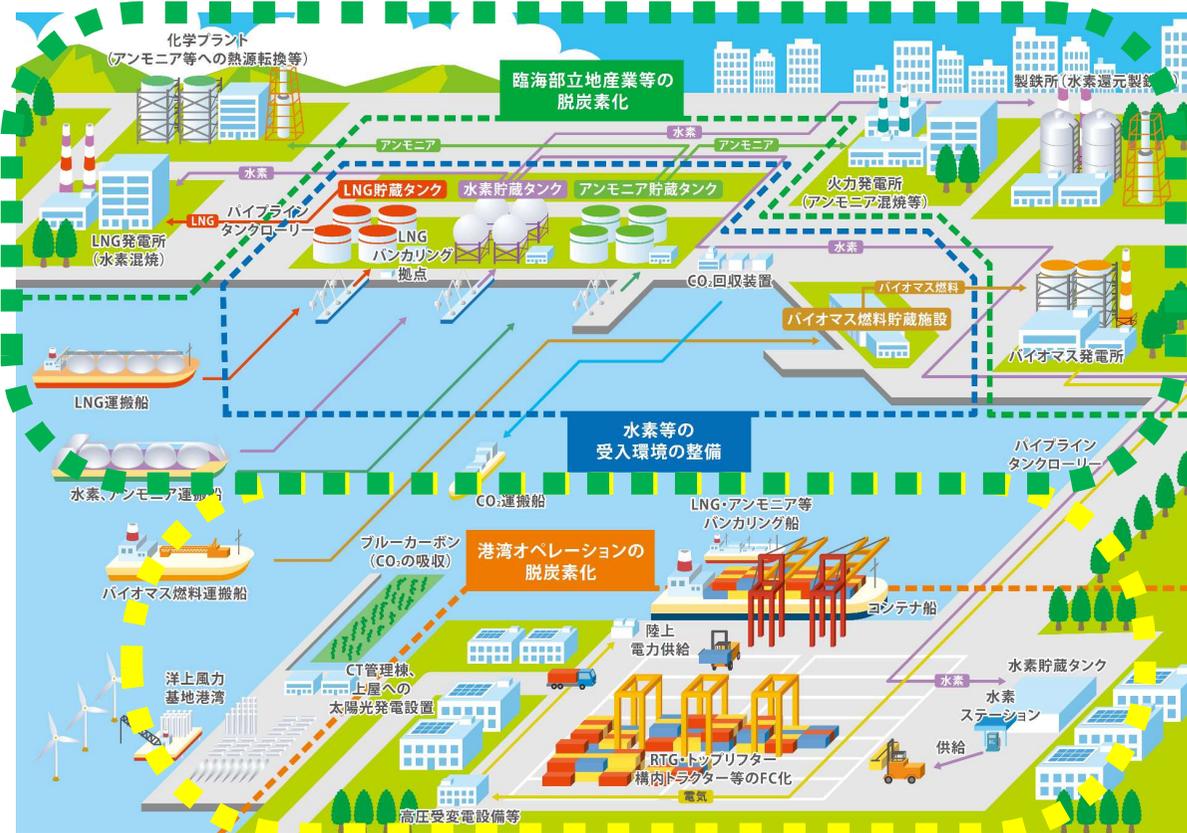
中部地方整備局（港湾空港関係）職員の大
使館等勤務地実績（オレンジ）、留学先実績（紫）



「カーボンニュートラルポート (CNP)」の形成の目的

- 港湾は、サプライチェーンの拠点かつ産業が集積する空間であり、運輸・製造業等の活動の場として機能
- ⇒ 港湾における脱炭素化の取組を推進することで、我が国の産業や港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献

「カーボンニュートラルポート (CNP)」の形成のイメージ



港湾・臨海部の脱炭素化への貢献

産業のエネルギー転換に必要な水素やアンモニア等の供給に必要な環境整備を進めることで、港湾・臨海部の脱炭素化に貢献

荷主等の脱炭素化ニーズへの対応を通じた港湾の競争力強化

世界的なサプライチェーン全体の脱炭素化の要請に対応して、港湾施設の脱炭素化等への取組を進めることで、荷主や船社から選ばれる、競争力のある港湾を形成

- 沿岸域に生息する藻場等の海洋植物にCO₂として取り込まれた炭素を「ブルーカーボン」と命名。
- 近年、ブルーカーボン生態系を活用した取組が注目を集め、海域環境の改善や温室効果ガスの吸収源対策の観点からブルーカーボンに関する取組が加速化。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”でのブルーカーボン生態系を活用した「命を育むみなとのブルーインフラ[※]拡大プロジェクト」により、ブルーインフラの保全・再生・創出の拡大に向けた環境整備等の取組を推進。

※ブルーインフラ：藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物

○ブルーカーボン生態系による効果



- 水質浄化
- 温暖化抑制 (炭素貯留)
- 食料供給 (水産振興)

○ブルーカーボン オフセットクレジット制度



資料：ジャバンブルーエコノミー技術研究組合

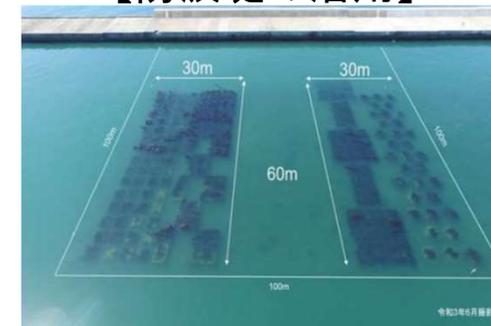
○命を育むみなとのブルーインフラの取組事例

【浚渫土砂の活用】



(山口県徳山下松港・大島干潟)

【防波堤の活用】



(北海道釧路港)

【生物共生型港湾構造物の活用】



(神奈川県横浜港)

【リサイクル材の活用】



【藻場造成ユニット】
鉄鋼スラグと人工腐植土とを混合したもの

(高知県須崎港)

※イメージ図